

2022年度 事業計画書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

我が国の経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景として緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、2月後半にはロシアによるウクライナ侵攻が開始され、世界経済に与える影響など今後の先行きが不透明な状態です。一方、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に和らぐもとの、持ち直しの傾向が見られます。新型コロナウイルス感染症については、全国で第3回目のワクチン接種が全国で始まり、今後は接種率が増加することで、感染状況の改善が期待されています。

一方、スポーツを取り巻く環境では、2021年5月に開催予定だった「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」は、2022年5月に開催が延期となりました。そのような中でも、開催に至った各種スポーツ大会では、感染対策や人数制限、無観客試合など多くの工夫がなされています。このように国民のスポーツライフが大きく変化した状況で、スポーツの価値が改めて見直される時期がきています。

当財団は、全ての人々がスポーツを楽しめる共生社会の実現に寄与する事を目的に2017年5月に設立し、第1期～第5期まで助成活動を実施してまいりました。

2020年度は「スポーツの学び・体験に関する支援事業」を新たに立ち上げ、これまで助成事業に加えて8回のセミナーを開催しました。今後はスポーツを「する」ということだけでなく、「学ぶ」にも焦点をあてて引き続き支援を拡大してまいります。

つきましては、第6期目を迎える2022年度の活動として、以下の3項目を推進していく所存でございます。

1. 公益性の高い助成事業及びセミナー事業の実施と拡大
2. 認知度アップに向けたプロモーション活動の継続
3. 独立性と継続性に優れた財団運営

また、助成計画は以下のとおりです。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 障がい者スポーツに関する支援事業 | 25,000千円を計上いたします |
| 2. 次世代を担う人材の育成に関する支援事業 | 35,000千円を計上いたします |
| 3. 富山県のスポーツ振興に関する支援事業 | 20,000千円を計上いたします |
| 4. スポーツの学び・体験に関する支援事業 | 10,000千円を計上いたします |

以上